

同時発表：中日本高速道路株式会社

令和6年11月5日
道路局道路交通管理課
国土技術政策総合研究所

新東名高速道路における自動運転トラックの要素技術検証を開始 ～自動運転トラックの要素技術検証の現場公開についても実施～

国土交通省道路局、国土技術政策総合研究所および中日本高速道路株式会社は、自動運転インフラ検討会の関係省庁と連携し、自動運転トラックの実現に向けて、新東名高速道路(駿河湾沼津SA～浜松SA)において、深夜時間帯に自動運転車優先レーンを設定し、車両開発と連携した、自動運転サービス支援道による自動運転トラックの公道走行の実証実験を実施することとしております。

これに先立ち、自動運転車優先レーンでの実証実験に向けて、自動発着確認・通信確認等の要素技術検証を、本日より開始しますのでお知らせいたします。

また、報道関係者向けの現場公開を12月4日(水)に実施します。

(1) 実験開始日

令和6年11月5日(火)より、自動発着確認、通信確認等の実証を順次実施

(2) 実験区間

新東名高速道路(駿河湾沼津SA～浜松SA)

(3) 要素技術検証

自動運転車優先レーンでの実証実験に向けて、以下の要素技術検証を開始します。

- ・自動発着確認(報道関係者向け現場公開対象)

自動運転トラックが自動駐車・自動発進できるかの確認を行います。

また、以下の要素技術実証についても、12月以降、順次実証を開始いたします。

- ・先読み情報提供システム(12月開始予定)

工事規制情報等の先読み情報について、路側機から送信された情報が適切に受信できるかを現地にて通信確認を行います。

- ・合流支援情報提供システム(1～2月開始予定)

自動運転車の本線合流を支援する情報提供システムについて、路側機から送信された情報が適切に受信できるかを現地にて通信確認を行います。

※調整状況により、実験開始時期が変更となる場合があります。

(4) 現場公開について

報道関係者向けに、自動発着確認の現場公開を12月4日(水)に予定しています。

ご希望の方は下記の連絡先まで、所属・氏名・電話番号・メールアドレスを記載の上、11月22日(金)12:00までにメールをお願いします。

【連絡先】hqt-its2020-dk@gxb.mlit.go.jp

※当日の天候等により、現場公開を延期または中止する場合があります。

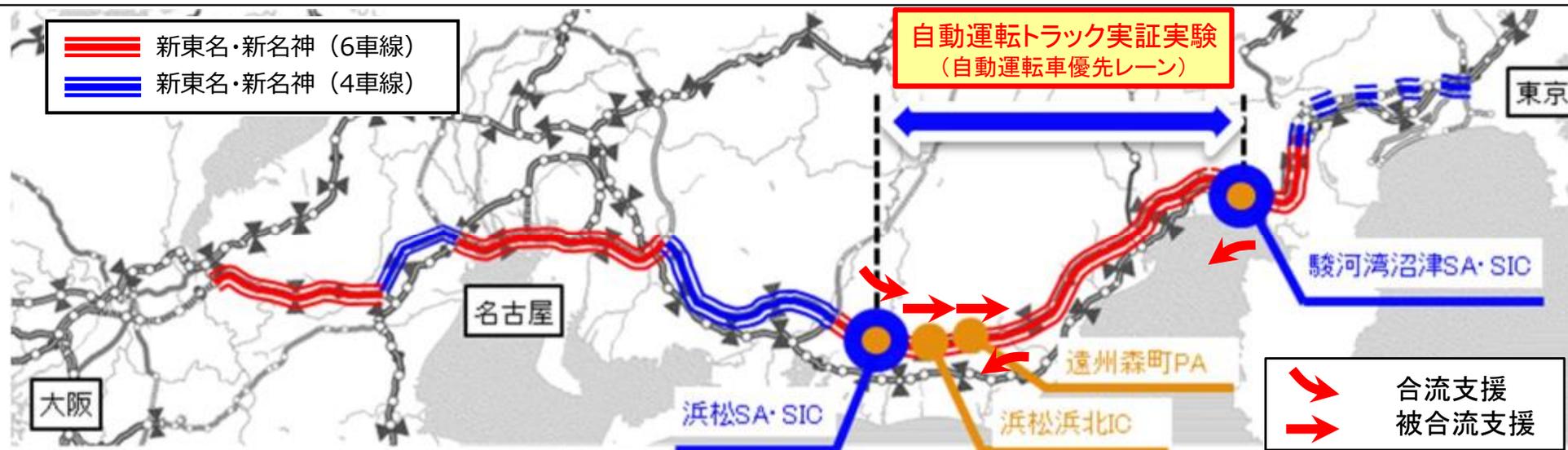
【問合せ先】

道路局 道路交通管理課 ITS推進室 北城 岸本 間宮

TEL:03-5253-8111(内線37462・37468・37465)、(直通)TEL:03-5253-8484

新東名高速道路における自動運転トラック実証実験

- 2024年度に新東名高速道路(駿河湾沼津SA~浜松SA)に自動運転車優先レーンを設定し、車両開発と連携した路車協調(合流支援情報提供、先読み情報提供等)によるレベル4自動運転トラックの実現に向けた実証実験を実施。



自動運転車優先レーン

合流支援情報提供イメージ

被合流支援情報提供イメージ

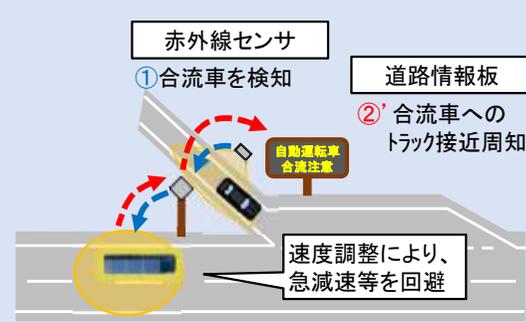
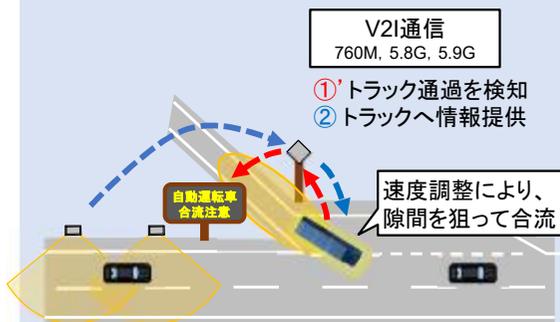
先読み情報提供イメージ

区間
 駿河湾沼津SA
 ~ 浜松SA

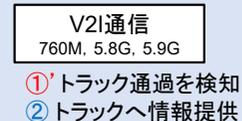
駿河湾沼津SA(下)、遠州森町PA(下)、浜松SA(上)

遠州森町PA(上)、浜松浜北IC(上)

専用・優先
 優先レーン
 (第一通行帯)



時間帯
 深夜時間帯
 22:00~5:00
 (土日祝日、特定日を除く)



※一部内容については、2025年度以降に実施

高速道路の自動運転サービスに求められるインフラ支援

要素① 合流支援情報提供システム

自動運転車の本線合流を支援する情報提供システムの整備



出典: 経済産業省

要素② 先読み情報提供システム

自動運転車の円滑な走行(事前の車線変更等)を支援する情報提供システムの整備



出典: photo AC

出典: 国土交通省

AIカメラや車両データ等を活用した落下物等の早期自動検知



出典: NEXCO東日本

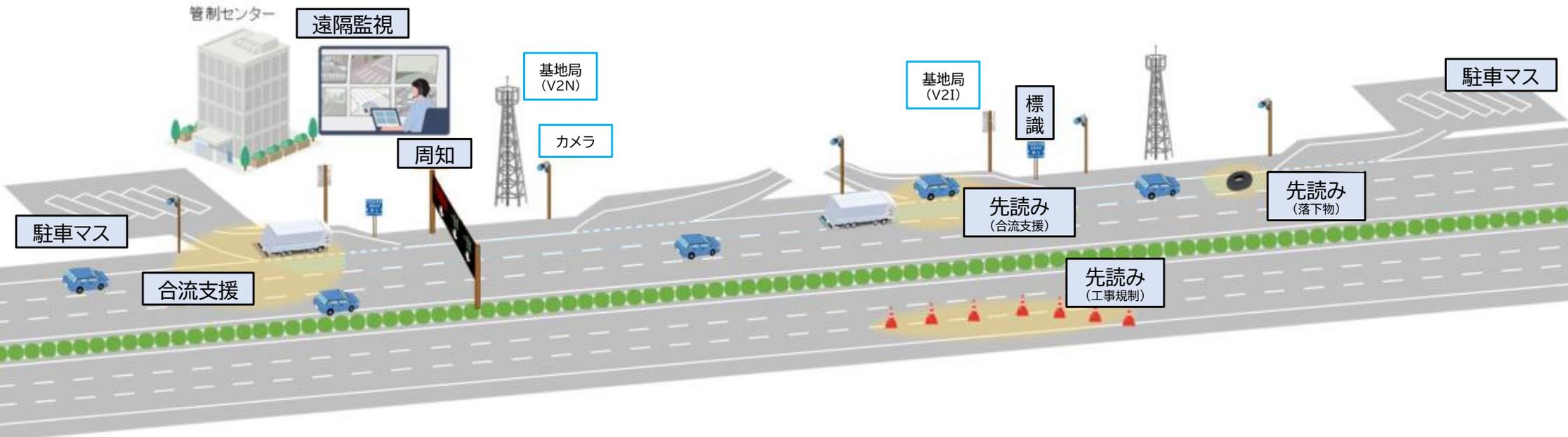
出典: NEXCO中日本

要素③ 道路、交通管理

遠隔監視、運転手や保安要員の派遣等



出典: NEXCO中日本



要素④ 切替拠点

自動運転の切替(ドライバー乗降等)に必要な駐車マスの整備



出典: NEXCO中日本

出典: 経済産業省

要素⑤ 自動運転車優先レーン

「優先通行帯」など



出典: 毎日新聞

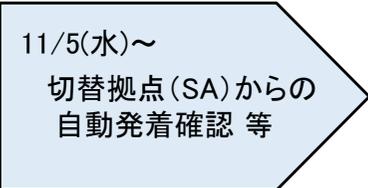
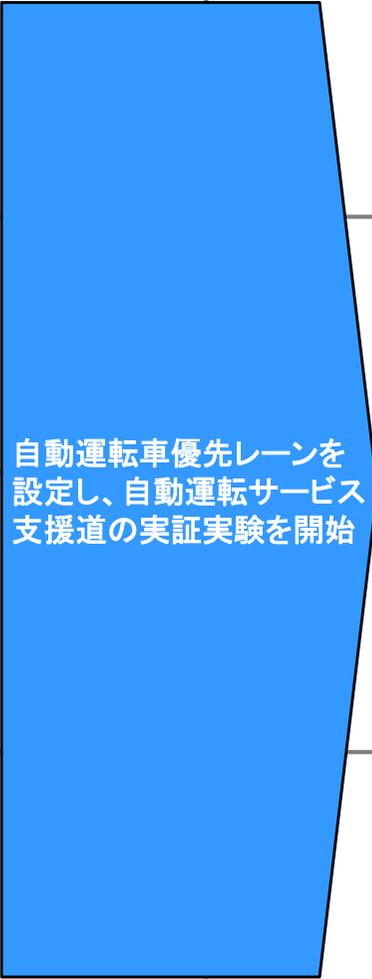
「優先通行帯」等の周知



出典: 本四高速

出典: NEXCO西日本

新東名高速道路の実証のスケジュール

実証実験	2024年度	2025年度
要素① 合流支援	 <p>路側機等インフラ整備</p> <p>合流支援情報提供システム (通信確認)等</p>	
要素② 先読み情報	 <p>先読み情報提供システム (通信確認)等</p>	
要素④ 切替拠点	 <p>11/5(水)～ 切替拠点(SA)からの 自動発着確認 等</p> <p>☆現場公開(12/4)</p>	
要素⑤ 優先レーン	 <p>標識等インフラ整備</p>	 <p>自動運転車優先レーンを 設定し、自動運転サービス 支援道の実証実験を開始</p>

※要素③の「道路・交通管理」については、実証期間中の対応等を通じて検証

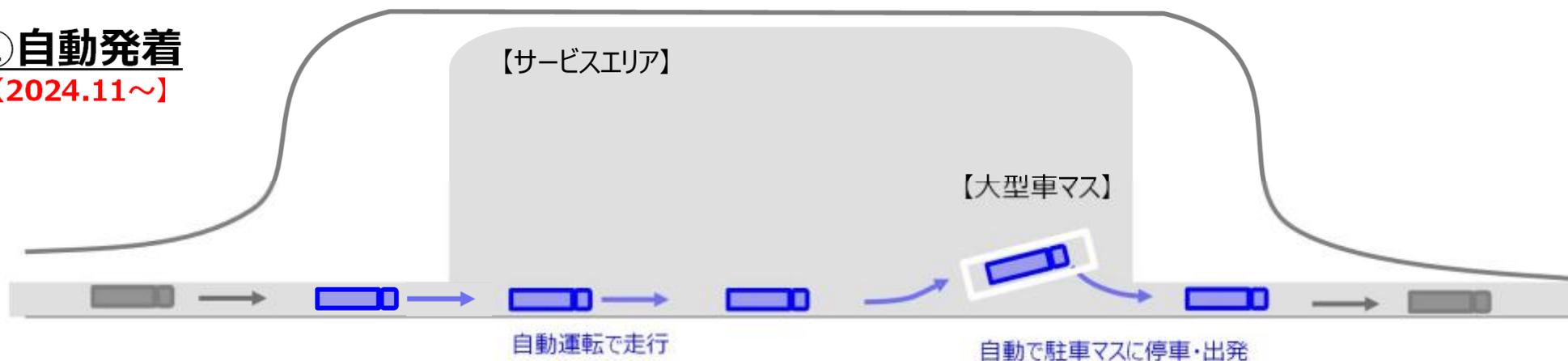
※自動運転サービス支援道の開始等については、詳細が決まり次第、改めて発表予定

 要素技術検証

要素技術検証イメージ

(※12/4(水)の現場公開内容)

①自動発着 【2024.11～】



②先読み情報・合流支援

